【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2000-20696(P2000-20696A)
【公開日】平成12年1月21日(2000.1.21)
【出願番号】特願平10-189203
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｔ　1/00
　Ａ６１Ｂ　5/00
　Ａ６１Ｂ　5/055
　Ａ６１Ｂ　6/03
// Ａ６１Ｂ　19/00
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　15/66　４５０
　Ａ６１Ｂ　5/00　D
　Ａ６１Ｂ　5/00　G
　Ａ６１Ｂ　6/03　３６０Ｑ
　Ａ６１Ｂ　5/05　３８０
　Ｇ０６Ｆ　15/62　３９０Ｂ
　Ａ６１Ｂ　19/00　５１０

【手続補正書】
【提出日】平成17年7月1日(2005.7.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　術台に載置された被検体を撮像装置により撮像して得る画像とこの被検体を医用画像診断装置によって撮像して得る医用画像とを合成表示する医用画像合成装置において、前記撮像装置の視野領域に配置され、前記撮像装置にて得る画像と前記医用画像との合成表示における位置を補正するための指標とする基準ターゲットを備えることを特徴とする医用画像合成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
　【００１４】
【課題を解決するための手段】
　本発明の医用合成画像装置は、術台に載置された被検体を撮像装置により撮像して得る画像とこの被検体を医用画像診断装置によって撮像して得る医用画像とを合成表示する医用画像合成装置において、前記撮像装置の視野領域に配置され、前記撮像装置にて得る画像と前記医用画像との合成表示における位置を補正するための指標とする基準ターゲットを備えたことを要旨とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００７０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７０】
【発明の効果】
以上のように本発明によれば、術台上の被検体の撮像装置の視野となる領域に基準ターゲットである立体ファントムを配置し、この立体ファントムと被検体と撮像装置とによる相対関係に基づいて位置関係を補正し、この補正結果に基づく被検体の立体医用画像と撮像装置による被検体の画像とを合成表示する。